

	2) 内閣府食品安全モニター員（2016 年 4 月～） 3) 「食品添加物について（小中学生対象）」（南区出前講座、福岡市南区区政推進部企画振興課、2019 年 8 月） 4) 「食品添加物について」（南区出前講座、福岡市南区区政推進部企画振興課、（2018 年 9 月放映） 5) KBC テレビ「めんたいワイド」への出演 ライスミルクの効用について（2015 年 2 月放映） 6) TNC テレビ「ももち浜ストア」への出演 土用の丑（うなぎ）について（2015 年 7 月放映） 7) 「食物アレルギーってなんだろう？」（南区公開講座、福岡市南区区政推進部企画振興課、2013 年 3 月） 8) 「水耕栽培による機能性植物、食事療法用植物栽培の実用化に向けた研究」（生物機能研究所、九州大学農学部、株式会社果実堂、九州産業技術センターとの産官学共同プロジェクト、2012 年 4 月～2013 年 3 月）
--	---

教員名	朝木 徹	所属	幼児保育学科	職名	教授	学位	児童学修士
最終学歴	平成 20 年 聖徳大学大学院児童学研究科修士課程修了						
研究分野・テーマ	保育学・幼児教育学、保育者効力感に関する研究						
学会活動	日本教育心理学会・日本学校心理士会・日本カウンセリング学会・日本キャンプ協会・ 日本レクリエーション協会（資格：保育士・公認心理師・学校心理士）						
研究成果 の公表	【著書】 ・『子どもと保育者でつくる人間関係-「わたし」から「わたしたち」へ-』 編者：横山真貴子（共著）教育情報出版 2017 年 3 月、第 4 章 1 節（子どもとの関係を築くために）第 9 章 1 節（4 歳児の人間関係の発達）の分担執筆 ・『保育内容総論-生活・遊び・活動を通して育ちあう保育を創る-』 編者：太田光洋（共著）同文書院 2019 年 4 月、第 2 章（保育の基本と保育のあり方）の分担執筆 ・『保育ニュー・スタンダード 子育て支援 - 保育者に求められる新たな専門的実践 - 』 編著者：太田光洋（共著）同文書院 2022 年 1 月、第 6 章（保育所等における支援）の分担執筆 ・『子ども家庭支援論－子どもを中心とした家庭支援－』 編者：七木田敦、上村真生、岡花祈喜一郎 教育情報出版 2022 年 1 月、11 章 1 節（保育の専門性を活かした子ども家庭支援とその意義）、11 章 3 節（子どもと保育士、保護者との関係性の問題）の分担執筆 ・『保育ニュー・スタンダード 子ども家庭支援論 - 保育を基盤とした子ども家庭支援 - 』 編者：太田光洋（共著）同文書院 2022 年 11 月、第 5 章（保育者に求められる基本的役割と姿勢（保護者及び地域が有する子育てを自ら実践する力の向上に資する支援））の分担執筆 ・『新・保育内容総論 保育って、おもしろい』 編者：前田和代 教育情報出版 2022 年 8 月、1 章 2 節（「領域」をどう捉え、どう実践につなげるか）、9 章 2 節（なぜ、保護者や地域・関係機関との連携が必要なのか）の分担執筆 【論文】 ○子どもの人間関係を育む保育実践の要因-保育者効力感と子ども観の関連について-（共著）聖徳大学児童学研究所第 11 号 2009 年 3 月 ○保育者志望学生の学習意欲の検討 - 保育者効力感と不合理な信念に着目して -（共著）精華女子短期大学研究紀要第 37 号 2011 年 3 月 ○保育者養成校における保育実習指導内容の検討 - 現場の保育者が実習生に求める保						

育技術を通して - (共著) 精華女子短期大学研究紀要第 38 号 2012 年 3 月

○保育者養成校における保育実習指導内容の検討Ⅱ - 保育所実習Ⅰにおける学生自己評価と実習園評価の比較を通して - (共著) 精華女子短期大学研究紀要第 39 号 2013 年 3 月

○保育者養成校における保育実習指導内容の検討Ⅲ - 学生自己評価と実習園評価の比較に基づく段階的自己評価指標(試案)の提言 - (共著) 精華女子短期大学研究紀要第 40 号 2014 年 3 月

○精華女子短期大学生の学びと学生生活に関する研究 - 在学時調査及び卒業後調査より - (共著) 精華女子短期大学研究紀要第 41 号 2015 年 3 月

○保育者養成校における保育実習指導内容の検討Ⅳ - 実習事前指導の段階的自己評価指標の活用を通して - (共著) 精華女子短期大学研究紀要第 41 号 2015 年 3 月

○幼児教育と小学校教育の連携の在り方 - 小学校教諭の「幼稚園・保育所の保育者に求める内容」の検討を通して - 精華女子短期大学研究紀要第 41 号 2015 年 3 月

○初年次教育における対人関係ゲーム・プログラムの試み - 保育者志望学生の友人関係に着目して - 精華女子短期大学研究紀要第 42 号 2016 年 3 月

○保育所実習を通した絵本の読み聞かせ体験の検討 - 保育現場における絵本の意味 - (共著) 精華女子短期大学研究紀要第 42 号 2016 年 3 月

○幼児教育と小学校教育の連携の在り方Ⅱ - 保育者の「小学校教諭に求める内容」の検討を通して - 精華女子短期大学研究紀要第 43 号 2017 年 3 月

○子どもの第一反抗期の育児に関する研究 - 育児における大変さや困りごとを感じる場面について - 精華女子短期大学研究紀要第 44 号 2018 年 3 月

○地域の子育て支援活動を通した保育者志望学生の学び - 親子のふれあい遊び実践の振り返りを通して - 精華女子短期大学研究紀要第 45 号 2019 年 3 月

○子育て相談に求められる担任保育者の要因 - 保育者志望学生の視点からみえてくる促進・阻害要因に着目して - 精華女子短期大学研究紀要第 46 号 2020 年 3 月

○保育実践が保育者志望学生の保育方法や子どもとのかかわりに及ぼす影響
(共著) 精華女子短期大学研究紀要第 47 号 2021 年 3 月

○保育者養成校における保育実習指導内容の検討Ⅴ - 新型コロナウイルス感染拡大防止下の実習指導の実際 - (共著) 精華女子短期大学研究紀要第 48 号 2022 年 3 月

【学会発表】

○幼稚園・保育所でのお手伝い内容の検討(共著)日本学校心理士会 2009 年大会 2009 年 8 月

○保育者養成課程学生のビリーフ検討 2 - 保育者効力感に着目して - (共著) 日本教育心理学会第 52 回大会 2010 年 8 月

○幼稚園・保育所でみられる子どものお手伝い内容の検討 - 現職保育者と保育者志望学生のお手伝い依頼意識の比較 - 日本カウンセリング学会第 44 回大会 2011 年 9 月

○実習生が保育現場から求められる保育技術の検討 - 保育所実習Ⅰにおける縦断的調

査を通して - 日本教育心理学会第 54 回総会 2012 年 11 月

○学生の保育者として働く自信の検討 - 保育所実習 I 前後の意識変化を通して - 日本
カウンセリング学会第 48 回大会 2015 年 8 月

○乳幼児期における第一反抗期の時期 日本カウンセリング学会第 50 回記念大会
2018 年 9 月

【講演】

- ・千葉市教育センター専門研修講座「一人ひとりの子どもが生き生きと過ごせる楽しい
学級づくり」等 2008 年 8 月～2023 年 8 月（継続中）
- ・相模原市体育協会グループ共同事業体「パパのための子育て講座 - 男性保育士に学ぶ
スポーツを通じた子育て方法 - 」2011 年 10 月
- ・福音ルーテル教会 大岡山幼稚園「心と体を育てる子育てのヒント」2012 年 10 月
- ・筒井保育所「子どもの褒め方・叱り方」2013 年 1 月
- ・大和保育所「甘えと甘やかし・怒ると叱る、どう違う？」2013 年 2 月
- ・ポピンズ国際乳幼児教育研究所「平成 27 年度埼玉県子育て支援員研修 一時預かり
事業と保育」2015 年 12 月
- ・大野南保育所「子どもとのかかわりで大切にしたいこと - ほめ方・叱り方のヒント - 」
2014 年 1 月
- ・福岡市南区公開講座「自我の芽生えを大切にしたい子育てのヒント」2015 年 3 月
- ・北部九州 2016 ルーテル幼保連 夏期研修会「気になる子どもから保育を考える」2016
年 8 月
- ・大野城市子育て支援センター事業 親子遊び・リーダー養成講座「子育て支援に関わ
る者としての心構え - 親子のふれあいを大切に」2016 年 10 月
- ・大岡山幼稚園園内研修「特別な支援を要する子どもとのかかわり」2016 年 12 月
- ・筒井保育所「子どものほめ方・しかり方のヒント」2017 年 1 月
- ・北部九州 2017 ルーテル幼保連 夏期研修会「気になる子どもから保育を考える」2017
年 8 月
- ・柳瀬保育園園内研修「保育所保育指針（改正版）についての理解」2017 年 11 月
- ・虹の森保育園「乳幼児期の親子のかかわり」2018 年 1 月
- ・大野城市れいわ子ども情報センター 親子遊び・リーダー養成講座「子育て支援に関
わる人の心構え」2020 年 7 月
- ・小郡市保育協会 保育士キャリアラダー研修「養護と教育及びアタッチメントに関す
る研修 - 子どもとのアタッチメント形成のために - 」2022 年 6 月
- ・福音ルーテル教会大岡山幼稚園 園内研修 第 1 部「子どものいろいろな発達障害に
ついてとその理解、その関わりについて」他 2022 年 8 月
- ・味坂保育園 園内研修「養護の視点を大切にしたい保育実践のあり方 - 子どもとのアタ
ッチメント形成のために - 」2022 年 9 月

【社会活動】

- ・ 幼児教育現場における教育相談・発達心理相談

2007 年 11 月～（継続中）福音ルーテル教会 大岡山幼稚園（教育相談）

2016 年 5 月～（継続中）学校法人福岡ルーテル学園 恵泉幼稚園（発達心理相談）

- ・ 福岡県「認定こども園」教育・保育内容等に関するアドバイザー

2020 年 12 月～（継続中）福岡県福祉労働部子育て支援課

- ・ 福岡県春日市子ども・子育て会議委員

2022 年 4 月～（継続中）福岡県春日市福祉支援部こども未来課

教員名	元田幸代	所属	幼児保育学科	職名	准教授	学位	教育学修士
最終学歴	平成 10 年 福岡教育大学教育学研究科家政教育専攻修了						
研究分野 ・テーマ	家政教育・保育者をめざす学生を対象とした家政教育						
学会活動	日本家政学会、日本図学会、日本教育工学会						
研究成果 の公表	学術論文 1)「保育者養成校における保育実習指導内容の検討Ⅱ ー保育所実習Ⅰにおける学生自己評価と実習園評価の比較を通してー」(共著)， 精華女子短期大学研究紀要 第 39 号,2013 年 3 月 資料 1)「教育実習（指導実習）に向けての実習指導について」(単著) 精華女子短期大学 研究紀要 第 46 号,2020 年 3 月						

	12) Association of appendicular extracellular-to-intracellular water ratio with age, muscle strength, and physical activity in 8,018 community-dwelling middle-aged and older adults. Archives of Gerontology and Geriatrics 108 (2023) 104931, 2023 (共著)【査読付】 13) Dose-response relationship between daily step count and prevalence of sarcopenia: A cross-sectional study. Experimental Gerontology Volume 175, May 2023, 112135, 2023 (共著)【査読付】 (その他) 1) 教育実習サブテキスト. コロニー印刷, 2019 (共著)
--	---

	第 45 号, 2019 年 5 月 5)「保育実践力とは～保育実践における子供を捉え直す力の育ちの検討～」(共著), 精華女子短期大学紀要, 第 46 号, 2020 年 3 月 6)「施設実習における現状と課題Ⅱ～施設保育士に関するイメージの涵養と実習への動機づけについて～」(共著), 精華女子短期大学紀要, 第 46 号, 2020 年 3 月 7)「施設実習における現状と課題Ⅲ～学外実習を主軸としたコロナ禍での実習指導のあり方～」(共著), 精華女子短期大学紀要, 第 48 号, 2022 年 3 月 8)「実習日誌の有用性について～保育者へのインタビューを元に～」(共著), 精華女子短期大学紀要, 第 50 号, 2023 年 3 月 9)「施設実習における現状と課題Ⅲ～学外実習を主軸としたコロナ禍での実習指導のあり方～」(共著), 精華女子短期大学紀要, 第 50 号, 2023 年 3 月 その他(依頼原稿) 1)「場面例から考える 保育の見直し 0・1・2 歳」(単著), はぐキッズ秋号, 2019 年 1 月 8 日 2)「思考し続け、歩みを止めない」(単著), 季刊保問研 303 号, 2020 年 6 月 3) 研究ノート「施設実習における現状と課題Ⅲ～コロナ禍での変化と対応～」(共著), 精華女子短期大学紀要, 第 47 号, 2021 年 3 月 4) 研究ノート「保育実践力とはⅡ～場面記録に見る保育学生の実習の困り感と変化する子ども像～」(単著), 精華女子短期大学紀要, 第 49 号, 2023 年 3 月 【学外活動・講演・社会活動】 ・福岡県キャリアアップ研修 「保育実践」 2019 年度 7 月、2022 年 9 月、2023 年 12 月 ・福岡県キャリアアップ研修 「乳児保育」 2020 年 10 月、2021 年度 12 月 ・久留米市 「乳児保育研修」 2023 年 6 月、8 月、12 月 ・伊佐市 「保育士等研修会」 2023 年 9 月、11 月 12 月、2024 年 1 月 ・2021 年度全国保育士養成セミナー企画委員会委員 2020 年 4 月 1 日～2022 年 3 月 31 日
--	---

教員名	四童子 薫	所属	幼児保育学科	職名	講師	学位	修士（教育学）
最終学歴	広島大学大学院教育学研究科文化教育開発専攻音楽文化教育学分野 博士課程後期 単位取得後退学						
研究分野・テーマ	音楽教育学 歌を記憶する際のリハーサルに関する研究、ピアノ初心者を対象とした教育方法に関する研究						
学会活動	日本音楽教育学会 中国四国教育学会 日本教科教育学会 日本音楽知覚認知学会						
研究成果 の公表	（学術論文） ○「歌詞および楽譜の提示が旋律線の記憶に与える影響」中国四国教育学会教育研究紀要、第 54 巻、pp.603-608、CD-ROM 版、2009 年 3 月 ○「歌の記憶実験における提示条件が旋律の記憶に与える影響—音楽経験の違いに着目して—」中国四国教育学会教育研究紀要、第 55 巻、pp.627-632、CD-ROM 版、2010 年 3 月 ○「音高情報のリハーサルに関する発達的研究—中学生を対象とした実験を通して—」中国四国教育学会教育研究紀要、第 56 巻、pp.203-208、CD-ROM 版、2011 年 3 月 ○「音高のリハーサルが音高情報の符号化に与える影響」広島大学大学院教育学研究科音楽文化教育学研究紀要、第 22・23 巻、pp.45-50、2011 年 3 月 ○「音高再生能力が旋律記憶におけるリハーサルの効果に与える影響」中国四国教育学会教育研究紀要、第 57 巻、pp.410-415、CD-ROM 版、2012 年 3 月 ○「旋律を記憶する際の発声を伴うリハーサルが記憶成績に与える影響」西日本短期大学総合学術研究論集、第 3 号、pp.177-181、2013 年 3 月 ○「子どもの歌を伴奏する際に必要なピアノのスキルについての研究—付点リズムを含む「生活の歌」に着目して—」西日本短期大学総合学術研究論集、第 8 号、pp.127-134、2018 年 3 月 ○「保育者養成における子どもの歌を弾き歌いする際のピアノの運指指導に関する研究」西日本短期大学総合学術研究論集、第 11 号、pp.81-87、2021 年 3 月 （翻訳） ○Christina M.Hornbach, Cynthia C. Taggart 著『幼稚園から第 3 学年までの子どもの歌唱達成度と音楽的能力との関係』広島大学大学院教育学研究科音楽文化教育学研究紀要、第 20 巻、pp.197-203、2008 年 3 月 （共同発表） ○酒井勇也、四童子薫「ICT を活用した遠隔合奏の可能性（講演と演奏）」令和 2 年度日本音楽教育学会九州地区例会（Zoom によるリモート開催）、2021 年 2 月						

	○酒井勇也、四童子薫「遠隔地をつなぐ音楽表現活動の可能性ーリアルタイム型遠隔アンサンブルの実演と実践からの考察ー」日本音楽教育学会第 52 回大会共同企画、2021 年 10 月 ○酒井勇也、四童子薫、平山裕基「遠隔地をつなぐ音楽表現活動の可能性 (2)ーリアルタイム型の遠隔協働音楽制作の実演と実践からの考察ー」日本音楽教育学会第 53 回大会共同企画、2022 年 11 月 (演奏発表) ○白と黒冬のコンサート part.9-26 ピアノ独奏およびピアノ 4 手連弾、2004-2019・2022-2023、年に 1 回開催 ○Colore del Suono (コロレ・デル・スオーノ) Vol.1-4、2015-2017 年および 2019 年開催、クラシック音楽のコンサート企画および演奏
--	---

教員名	新田 博司	所属	幼児保育学科	職名	講師	学位	修士（心理学）
最終学歴	九州大学大学院人間環境学府 修士課程修了						
研究分野 ・テーマ	発達心理学・自己に関わる認知機構の発達						
学会活動	日本心理学会、日本発達心理学会、International Congress of Infant Studies						
研究成果 の公表	【学術論文】 1) Nitta, H., Tomita, H., Zhang, Y., Zhou, X., & Yamada, Y. (2018). Disgust and the rubber hand illusion: A registered replication report of Jalal, Krishnakumar, and Ramachandran (2015). <i>Cognitive Research: Principles and Implications</i>, Springer Nature, 3(1), 1-11. 2) Meng, X., Nakawake, Y., Nitta, H., Hashiya, K., & Moriguchi, Y. (2019). Space and rank: Infants expect agents in higher position to be socially dominant. <i>Proceedings of the Royal Society B: Biological Sciences</i>, The Royal Society, 286(1912), 20191674. 3) Nitta, H., & Hashiya, K. (2021) “Self-face representation in the first year of life: A study using the morphing technique. <i>Infant Behavior and Development</i>, Elsevier, 62, 101479. 【学会発表】 1) Nitta, H., & Hashiya, K. (2018). Discrimination between morphed face and novel face in infancy, 21st ICIS Biennial Congress, Philadelphia, the United States, June 30-July3. (Poster Presentation) 2) Nitta, H., & Hashiya, K. (2018). Discrimination between one’s own face and self resemble face in infancy, 25th Biennial Meeting of the International Society for the Study of Behavioral Development, Queensland, Australia, July 15-19. (Poster Presentation) 3) Nitta, H., & Hashiya, K. “Development of self-face representation in 12-month-old infants: A study with the preferential looking paradigm using the morphing technique.” BCCCD 2020, Budapest, Hungary, January 2020. (Poster Presentation) 4) 新田博司・富田青斗・張伊・周欣欣・山田祐樹 (2017), ラバーハンドの嫌悪感, 日本心理学会第 81 回大会, 久留米シティプラザ, 2017, 9 月 22-24 日 5) 新田博司・宇土裕亮・茶谷健悟・橋彌和秀 (2022), 幼児期における自己顔処理と自己参照課題の関連, 第 33 回日本発達心理学会, 3 月 6 日, 2022 年. 他						

一考察」『活水論文集 67 集』活水女子大学、2024 年 3 月、127 頁～144 頁。

【研究ノート】

- 金珉呈「日本における障害児保育の前史－恩賜財団愛育会による母子愛育事業と『異常児保育』の実験研究の展開を通して－」日本福祉大学『社会福祉学研究 第6号』2008 年、15 頁～23 頁。
- 金珉呈「日本における障害児保育の展開に関する一考察－1970 年代の滋賀県大津市と東京都荒川区の取組みを通して－」『いわき短期大学紀要第 45 号』2012 年 3 月、17 頁～30 頁。

【報告書】

- 金珉呈「幼保一元化施設の聞き取り調査の記録」勅使千鶴編『日本における幼児教育・保育政策の研究-韓国の子育て支援政策の形成の実現のために』平和中島財団外国人研究者等招致報告書、2005 年、52 頁～74 頁。
- 金珉呈、丹羽孝「第 19 回 国際交流委員会企画シンポジウム報告 韓国の教育課程の改訂は、保育実践の場は何をもたらすか－ヌリ課程改訂の内容・過程と特徴から考える－」一般社団法人日本保育学会『保育学研究第 57 巻第 3 号』2019 年、58 頁～66 頁。
- 上原真幸、金珉呈、勅使千鶴、韓仁愛『韓国の保育者養成に関する調査研究 2023 (令和 5) 年度の研究成果報告書』科学研究費補助金基盤 (C) 一般 研究成果報告書 (研究課題番号 23K01954)、2024 年 3 月。
- 上原真幸、金珉呈、勅使千鶴、韓仁愛『2023 (令和 5) 年度研究 (翻訳版) 「2020 年改定 韓国の保育教師 2 級資格取得のための教科目 標準教科概要」』科学研究費補助金基盤 (C) 一般 研究成果報告書 (研究課題番号 23K01954)、2024 年 3 月。

【学会発表】

- 「日本における障害児保育の成立過程に関する一考察－京都豊口話幼稚園の成立過程を中心に－」『日本保育学会第 59 回大会 (北海道浅井学園大学) 口頭発表』2005 年 5 月。
- 「大津市における障害児保育の成立－近江学園の実践と理論研究から学んだこと－」『日本社会福祉学会第 53 回全国大会 (東北福祉大学) 自主シンポジウム』2005 年 10 月。
- 「子どもの知的な育ちの視点から先達の保育実践を検討する I」『第 65 回日本保育学会大会 (東京家政大学) 自主企画シンポジウム』2012 年 5 月。
- 「日本における子育て支援の社会的支援の現状－名古屋市天白区の子育て支援の事例を通して－」2012 年度韓国児童学会春季学術大会『子ども支援の統合的な体系の確立のための模索』韓国児童学会春季学術大会主題講演 (韓国延世大学校: 招聘講演) 2012 年 5 月。
- 「子どもの知的な育ちの視点から先達の保育実践を検討する II」『第 66 回日本保育学会大会 (中村学園大学) 自主企画シンポジウム』2013 年 5 月。
- 「学生の主体性を育む『保育実習指導』に関する実践報告－学生の主体的な学びと思考、『合意形成』を中心に－」『全国保育士養成協議会 第 54 回研究大会』(北海道札幌市) 2015 年 8 月。

教員名	山崎 幹子	所属	幼児保育学科	職名	専任講師	学位	修士(教育学)
最終学歴	中村学園大学大学院教育学研究科教育学専攻修士課程 修了						
研究分野 ・テーマ	保育学・遊び・砂場・保育者論・子どもと言葉・造形表現・子どもと人間関係						
学会活動	日本保育学会						
研究成果 の公表	【論文】 ・砂場遊びと領域「人間関係」：幼稚園における事例研究(共著) 中村学園大学発達支援センター研究紀要(13) 28-35, 2021-12-15 ・事例に基づく砂場遊びの分類：幼稚園における幼児理解の一提案(共著) 中村学園大学発達支援センター研究紀要(14) 31-40, 2022-12-08 ・小学校教育における砂場の活用に関する検討：遊びの事例と学習指導要領をふまえて(共著) 中村学園大学・中村学園大学短期大学部研究紀要 (55) 61-67, 2023-03-01 ・子どもがスクールバスや園バスに取り残された事件：新聞報道などに基づく発見の経緯の分析と 予防策の提示(共著) 中村学園大学・中村学園大学短期大学部研究紀要(56) 155-164, 2024-03-22 【学会】 ・砂（場）遊び研究の到達点と課題（ポスター発表） 日本保育学会第 73 回大会（奈良教育大学）2020-05 【その他】 ・砂場遊びと領域「環境」：幼稚園における事例研究(共著) 中村学園大学教職教育センター『教職教育研究』(6)44-45, 2022-03 ・30 年間の付属幼稚園における実習指導の変遷(共著) 中村学園大学教職教育センター『教職教育研究』(8)5-6, 2024-03						

3) 大麦焼酎蒸留残液から分取した乳酸菌用培地. 特許 3527661. 2004 年

【学会発表・その他活動】

1) NHK 総合番組「うまいッ！」へ糠床の専門家として出演 2018 年 1 月 14 日放送

2) 「発酵よもやま話」北九州小倉糠床、糠炊き研究会主催市民フォーラム 2017 年 10 月

3) 「糠床浸漬による野菜に付着する微生物叢の変化」

第 69 回日本生物工学会本大会 2017 年 9 月

4) 「発酵大麦が有する機能性の紹介～微生物からヒトまで～」

九州地域バイオクラスター推進協議会プレゼン研修会 2011 年 9 月

5) 「Novel conversion processes with lactic acid bacteria from Shochu Kasu
into valuable materials」

2009 韓国 KSBB 国際シンポジウム 2009 年 11 月

教員名	葉 山泉	所属	生活科学科 食物栄養専攻	職名	教授	学位	医学博士
最終学歴	昭和 44 年 久留米大学医学部卒業						
研究分野 ・ テーマ	高齢者の骨折の治療法の臨床開発研究						
学会活動	日本整形学会、西日本整形・災害外科学会						
研究成果 の 公 表							

教員名	阪田 直美	所属	生活科学科 食物栄養専攻	職名	准教授	学位	教育学修士 家政学士
最終学歴	福岡教育大学大学院 教育学研究科 家政教育専攻 修了						
研究分野 ・テーマ	栄養学・栄養教育・食品の機能性に関する研究 食育の情報発信とその方法及びメニュー考案について						
学会活動	日本栄養改善学会、日本健康科学学会、日本健康教育学会、日本食品科学工学会、 日本栄養士会、福岡県栄養士会						
研究成果 の公表	学術論文 1)調理済み、半調理済み食品の利用状況について.精華女子短期大学紀要,第 20 号,1993 年 (単著) 2) 食品重量に関する研究.精華女子短期大学紀要,第 22 号,1996 年 (共著) 3)女子短大生への栄養教育の効果.精華女子短期大学紀要,第 24 号,1998 年 (共著) 4)女子短大生とその母親の食生活の関連性.精華女子短期大学紀要,第 25 号,1999 年 (共著) 5)コンピュータを用いた栄養教育に関する研究.福岡教育大学大学院修士論文,2001 年(単著) 6)女子学生の食習慣と健康意識.精華女子短期大学紀要,第 30 号,2004 年(単著) 7)食生活に起因するストレス緩和に関する考察.精華女子短期大学紀要,第 32 号,2006 年(共著) 8)栄養教育実習に関する研究.精華女子短期大学研究紀要,第 38 号,2012 年 (単著) 9)食物アレルギーとその対応食について.精華女子短期大学研究紀要,第 39 号,2013 年 (共著) 10)女子高校生の食の現状について.精華女子短期大学研究紀要,第 40 号,2014 年 (共著) 11)機能性パン作りに関する研究.日本食品科学工学会誌,2015 年 (共著) 12)女子学生のハチミツに対する食意識調査及び活用方法について.日本栄養改善学会誌, 2015 年 (共著) 13)機能性パン作りに関する研究.精華女子短期大学研究紀要,第 42 号,2016 年 (共著) 14)女子学生のハチミツに対する食意識調査及び活用方法について.精華女子短期大学研究紀要,第 42 号,2016 年 (共著) 15)栄養教育実習の取り組みについて.精華女子短期大学研究紀要,第 42 号,2016 年 (共著) 16)機能性パン作りに関する研究 2 報.精華女子短期大学研究紀要,第 43 号,2017 年 (共著)						

- 17) 栄養教育実習の取り組みについて 2 報. 精華女子短期大学研究紀要, 第 45 号, 2019 年 (単著)
- 18) 栄養教育実習の取り組み. 健康教育学会誌, 2019 年 (単著)
- 19) 機能性パン作りに関する研究 3 報. 精華女子短期大学研究紀要, 第 46 号, 2020 年 (単著)
- 20) 地域貢献と学修成果. 精華女子短期大学研究紀要, 第 47 号, 2021 年 (単著)

学会発表

- 1) 女子短大生の調理済み食品の利用行動と利用意識の関連性について. 日本栄養改善学会, 1999 年, 10 月
- 2) 栄養管理支援システムの開発と栄養教育における有効性について. 日本栄養改善学会, 2001 年, 10 月
- 3) 女子学生の食習慣と健康意識について. 日本健康科学学会, 2004 年, 9 月
- 4) 女子学生の食習慣について. 福岡県栄養改善学会, 2007 年, 9 月
- 5) 食育活動における取り組み～実践事例～. 日本栄養改善学会, 2010 年, 9 月
- 6) 機能性パン作りに関する研究. 日本食品科学工学会, 2015 年, 8 月
- 7) 女子学生のハチミツに対する食意識調査及び活用方法について. 日本栄養改善学会, 2015 年, 9 月
- 8) 栄養教育実習の取り組み. 健康教育学会, 2019 年, 6 月
- 9) 食育活動の取り組み～中学生期～. 日本栄養改善学会, 2022 年, 9 月

公開講座

- 1) 食育学習会. 春日中学校. 2012 年 11 月
- 2) 「食物とアレルギーについて」(社団法人全国栄養士養成施設協議会後援, 2012 年 12 月)
- 3) 食に関する指導. お弁当の日. 春日中学校. 2013 年 3 月
- 4) 「親子食育講座」(一般社団法人全国栄養士養成施設協議会後援, 2013 年 8 月)
- 5) 食育学習会. 春日中学校. 2013 年 11 月
- 6) 食に関する指導. お弁当の日. 春日中学校. 2014 年 3 月
- 7) 「親子食育講座」(公益社団法人日本フードスペシャリスト協会後援, 2014 年 8 月)
- 8) 食育学習会. 春日中学校. 2014 年 12 月
- 9) 食に関する指導. お弁当の日. 春日中学校. 2015 年 3 月
- 10) 彩り豊かにバランスの良い食事～お弁当づくりを通して～. 公益社団法人福岡県栄養士会. 2015 年 9 月
- 11) 食育学習会. 春日中学校. 2015 年 11 月
- 12) 食に関する指導. お弁当の日. 春日中学校. 2016 年 3 月
- 13) 「親子食育講座」(公益社団法人日本フードスペシャリスト協会後援, 2016 年 8 月)

- | |
|--|
| <p>14)食育学習会. 春日中学校. 2016 年 12 月</p> <p>15)食に関する指導. お弁当の日. 春日中学校. 2017 年 3 月</p> <p>16)「親子食育講座」南区こども大学 2017 年 8 月</p> <p>17)「いきいきシニアの料理教室」(一般社団法人全国栄養士養成施設協会) 2017 年 9 月</p> <p>18) 食育学習会. 春日中学校. 2017 年 12 月</p> <p>19) 食に関する指導. お弁当の日. 春日中学校. 2018 年 2 月</p> <p>20)「親子食育講座」南区こども大学 2018 年 8 月</p> <p>21)「いきいきシニアの料理教室」2018 年 9 月</p> <p>22) 食育学習会. 春日中学校. 2018 年 12 月</p> <p>23)「親子食育講座」南区こども大学 2019 年 8 月</p> <p>24)「いきいきシニアの料理教室」2019 年 9 月</p> <p>25) 食育学習会. 春日中学校. 2019 年 12 月</p> <p>26) 食育学習会. 那珂川北中学校. 2020 年 12 月</p> <p>27) 食育学習会. 春日中学校. 2021 年 11 月</p> <p>28) 食育学習会. 那珂川北中学校. 2021 年 12 月</p> <p>29)「親子食育講座」南区こども大学 2022 年 8 月</p> <p>30) 南区出前講座. 三宅公民館. 2022 年 8 月</p> <p>31) 食育学習会. 那珂川北中学校. 2022 年 11 月</p> <p>32) 食育講習会. 春日中学校. 2023 年 11 月</p> <p>33) 食育講演会. 那珂川北中学校. 2023 年 12 月</p> <p>34) 食育講演会. 福岡県福祉子育て支援課、北九州市保育課. 2024 年 2 月</p> <p>その他</p> <p>1) 給食管理実習ノート.コロニー印刷.1991 年~2005 年(共著)</p> <p>2) 栄養教育実習ノート.コロニー印刷.2016 年~2017 年(共著)</p> |
|--|

教員名	水谷 玲香	所属	生活科学科 食物栄養専攻	職名	講師	学位	栄養科学博士
最終学歴	中村学園大学大学院栄養科学研究科博士後期課程 修了						
研究分野 ・テーマ	生活習慣病の危険因子と食事・運動療法、スポーツ栄養に関する研究						
学会活動	日本透析医学会、日本総合健診医学会、日本栄養士会、福岡県栄養士会						
研究成果 の公表	(学術論文) ・ジュニアテニス選手の栄養素等摂取状況 (共著)：精華女子短期大学研究紀要 第 36 号, 2010 ・女子高校生の食の現状について (共著)：精華女子短期大学研究紀要 第 40 号, 2014 ・機能性パン作りに関する研究 (共著)：精華女子短期大学研究紀要 第 42 号, 2016 ・保温鍋を使用した加熱調理の指導の試み (共著)：精華女子短期大学研究紀要 第 44 号, 2018 ・Physical Activity and Blood Lipids and Lipoproteins in Dialysis Patients.(共著) ; Avid Science : In Press, 2019						

教員名	坂本 純	所属	生活科学科 食物栄養専攻	職名	助教	学位	学士（食生活健康）
最終学歴	活水女子大学健康生活学部食生活健康学科						
研究分野 ・テーマ	小学生の食育について						
学会活動							
研究成果 の公表	研究ノート 「女子高校生の食の現状について」,共著,精華女子短期大学紀要,第 40 号,2014 年 3 月						

教員名	西田 晃子	所属	生活科学科 食物栄養専攻	職名	助手	学位	短期大学士
最終学歴	平成 21 年 精華女子短期大学生活科学科食物栄養専攻卒業						
研究分野 ・テーマ	臨床栄養学						
学会活動							
研究成果 の公表							

教員名	北 友里奈	所属	生活科学科 食物栄養専攻	職名	助手	学位	学士（栄養学）
最終学歴	平成 29 年 西南女学院大学社会福祉学部栄養学科 卒業						
研究分野 ・テーマ	臨床栄養学、調理学						
学会活動							
研究成果 の公表							

教員名	庄 野 千 鶴	所属	生活科学科 生活総合 ビジネス専攻	職名	教 授	学位	博士(農学)
最終学歴	平成 12 年 九州大学大学院博士後期課程農学研究科農政経済学専攻単位取得後退学						
研究分野 ・ テーマ	食料消費分析・農産物貿易						
学会活動	最近の学会活動 九州農業経済学会、日本フードシステム学会 平成 30 年度-令和 3 年度日本フードシステム学会第 13 期理事 2017 年度日本フードシステム学会福岡大会・大会実行委員(平成 28 年 9 月 29 日～平成 29 年 06 月 11 日) 平成 29 年 6 月 11 日公開地域シンポジウム司会進行 (於：中村学園大学) 平成 24 年度『食農資源経済論集』投稿論文審査協力、 平成 17 年度『フードシステム研究』投稿論文審査協力 令和 04 年度『食農資源経済論集』投稿論文審査協力 令和 05 年度食農資源経済学会会計監事						
研究成果 の 公 表	【著書】 1)パソコン・ビジネス文書処理,共著,平成 06 年 10 月,嵯峨野書院 2)現代経済システムの諸問題,共著,平成 09 年 07 月,九州大学出版会 3)グローバル経済下の地域構造,共著,平成 13 年 03 月,九州大学出版会 4)WTO と国際乳製品貿易,単著,平成 13 年 07 月,農林統計協会 5)短期大学卒業者のキャリア形成に関するファースト・ステージ 論的研究,共著,平成 19 年 03 月発行:安部恵美子長崎短期大学 6)短期大学ステークホルダー調査ハンドブック-短大教育の飛躍を目指して-,共著,平成 20 年 03 月財団法人短期大学基準協会 【学術論文】 1)情報管理能力養成のための教材活用,共著,平成 04 年 04 月,精華女子短期大学紀要第 19 号 2)自由貿易下における生乳市場空間均衡分析(その 1),単著,平成 07 年 03 月,精華女子短期大学紀要第 21 号 3)変分不等式問題による単位取引費用減少下の空間均衡モデル,単著,平成 08 年 03 月,精華女子短期大学紀要第 22 号 4)関税を導入した国際貿易空間均衡モデルの展開-完全競争市場の場合-,共著,平成 11 年 03 月,九州大学農学部学芸雑誌第 53 巻 1-4 合併号 5)関税を導入した国際貿易空間均衡モデルの展開-寡占市場の場合-,共著,平成 11 年 11 月,九州大学農学部学芸雑誌第 54 巻 第 1・2 号 6)関税を導入した国際貿易空間均衡モデルへの輸出割当と最低輸出価格の導入-完全競争市場及び寡占市場-,共著,平成 12 年 03 月,九州大学農学部学芸雑誌第 54 巻 第 3・4 号 7)Will China's Diet follow Western Diets ?,共著,July,2000,Agribusiness,Vol.16/Number3 8)国際貿易空間均衡モデルにおける線形相補性問題の解の存在とそのアルゴリズムについて,共著,平成 12 年 08 月,九州大学農学部学芸雑誌第 55 巻第 1 号 9)関税を導入した国際貿易空間均衡モデルへの輸出保持金の導入と国際乳製品市場へのその適用-完全競争市場及び寡占市場の場合-,共著,平成 12 年 11 月,九州大学農学部学芸雑誌第 55 巻第 2 号 10)日別 POS データによる牛乳需要分析,共著,平成 12 年 12 月,フードシステム研究第 7 巻 2 号 11)生活総合ビジネス専攻におけるインターシップ の取組,共著,平成 25 年度,精華女子短期大学研究紀要第 39 号 12)短期大学教育における学習成果の評価方法に関する検討,共著,平成 30 年度,精華女子短期大学研究紀要第 45 号 13)短期大学における退学思考に関する一考察,共著,平成 30 年度,精華女子短期大学研究紀要第 45 号 【報告書】 1)将来の食料需給における日本水産業の役割-世界食料需給の動向と見通し-(初年度分析結果),共著,平成 08 年 06 月,東京水産振興会「第 I 部第 2 章 FAO による 2010 年の見通し」pp27-pp46 の 20 頁担当 2)将来の食料需給における日本水産業の役割-世界食料需給の動向と見通し-(初年度分析結果),共著,平成 08 年 06 月,東京水産振興会「第 I 部第 7 章 食料消費動向の分析と 水産物需給」pp115-pp136 の 22 頁担当 3)将来の食料需給における日本水産業の役割-世界食料需給の動向と見通し-(最終報告),共著,平成 10 年 03 月,東						

京水産振興会

4)自由市場下の乳価変動リスク推定モデルと日別 POS データによる牛乳需要分析,共著,平成 11 年 03 月,中央酪農会議

【研究ノート】

1)台湾における食料消費パターンの変化について,単著,平成 11 年 03 月,精華女子短期大学紀要(現精華女子短期大学研究紀要)第 23 号

2)主成分分析による中国食料消費パターンに関する一考察,単著,平成 18 年 03 月,精華女子短期大学研究紀要第 32 号

3)卒業生アンケート調査からみる女性のライフコースに関する一考察,単著,平成 20 年 03 月,精華女子短期大学研究紀要第 33・34 号

4)卒業生調査から見る職業別の経年変化に伴うコンピテンシーについて,単著,平成 20 年 03 月,精華女子短期大学研究紀要第 33・34 号

5)中国における地域別食料消費パターンに関する一考察,単著,平成 21 年 03 月,精華女子短期大学研究紀要第 35 号

6)生活総合ビジネス専攻におけるインターンシップの取組,共著,平成 25 年 03 月,精華女子短期大学研究紀要第 39 号

7)カリキュラムマトリックスによる学修成果のビジュアル化について(報告書),共著,平成 27 年 03 月,精華女子短期大学研究紀要第 41 号

8)事例研究報告:インターンシップをととした学修効果測定に関する一考察,共著,平成 28 年 03 月,精華女子短期大学研究紀要第 42 号

【研究報告】

1)我が国における牛乳・乳製品の需要分析,共同,平成 10 年 10 月,九州農業経済学会

2)関税を導入した国際貿易空間均衡モデルの展開 -完全競争市場の場合-,共同,平成 10 年 11 月,TEA 秋期大会

3)「短期大学卒業生調査」中間報告,共著,平成 16 年 3 月 1 日,短期大学将来構想に関する研究会

【その他】

1)中国における牛乳・乳製品動向-食品のなかの位置づけ-(上),単著平成 11 年 04 月 19 日農林経済(第 9173 号),時事通信社

2)中国における牛乳・乳製品動向-食品のなかの位置づけ-(下)単著平成 11 年 05 月 06 日農林経済(第 91763 号・合併号),時事通信社

3)牛乳・乳製品をめぐる国際競争の現状と展望,単著,平成 12 年 06 月 15 日,食品工業 Vol.43 No.11

4)WTO 体制下の国際乳製品貿易-競争と保護のバランスを考える-,単著,平成 13 年 11 月 01 日,別冊 Dairy Japan 牛乳生活情報

5)短大卒業生の進路・キャリア形成と短大評価,共著,平成 17 年 02 月 01 日,短期大学基準協会発行

6)カリキュラムマトリックスによる学修成果のビジュアル化について(報告書),共著,平成 27 年 03 月,精華女子短期大学研究紀要第 41 号

7)寄稿:精華女子短期大学・アクティブ・ラーニングとその評価への取り組み,平成 26 年度,一般財団法人全国大学実務協会会報 第 12 号 pp7

8)インターンシップをととした学修効果測定に関する事例報告,共著,平成 29 年 12 月 17 日,日本インターンシップ学会九州支部第 20 回研究会(短期大学コンソーシアム九州合同研究会)

9)学長教育研究論文賞受賞「事例研究報告:インターンシップをととした学修効果測定に関する一考察」,共著,平成 31 年 1 月 23 日

【協力】

①委託研究:こんにやく健康パウダー「コンジャック・パウダーの開発研究事業」,平成 20 年,福岡県産炭地域振興センター新産業創造等基金支援事業

②九州創発塾 2009~7 つのシナジーが切り拓く未来へ~第 3 回佐賀大会,中小企業基盤整備機構九州支部特別講演『ワトパワーで繋ぐ新しい九州』パネリスト,平成 21 年,主催:九州創発塾(佐賀新聞社,南日本新聞社,西日本新聞社,長崎新聞社,熊本日日新聞社,大分合同新聞社,宮崎日日新聞社),佐賀市マリンピア

③RKB『今日感テレビ』協力出演 平成 21 年 09 月 30 日

教員名	福岡寛明	所属	生活科学科 生活総合 ビジネス専攻	職名	講師	学位	修士（工学）
最終学歴	熊本大学博士後期課程 自然科学研究科環境共生工学専攻 単位取得満期退学						
研究分野 ・テーマ	統計学、社会心理学、社会音響学、環境政策、食生活学						
学会活動							
研究成果 の公表	【主な学術論文】 1)ハノイでの鉄道騒音と振動に関する社会調査,共著,2011 年 8 月,日本音響学会騒音・振動研究委員会 2)ベトナムにおける航空機, 道路交通, 鉄道からの騒音によるアノイアンスと生活活動妨害への影響,共著,2011 年 8 月,日本音響学会騒音・振動研究委員会 3)糖尿病透析予防指導の当院における試み,共著,2011 年 11 月,日本糖尿病合併症学会 4)糖尿病透析予防指導の当院における試み～食事指導の実際～,共著,2013 年 1 月,日本病態栄養学会年次学術集会 5)北海道における吹雪時の交通障害状況,共著,2015 年 9 月,日本雪氷学会 6)プローブデータを用いた吹雪時の交通障害の解析について,共著,2015 年 11 月,日本雪氷学会 7)特定保健指導における支援手法の検討とその効果,共著,2016 年 6 月,日本循環器病予防学会 8)特定保健指導の支援レベル別各種指標改善効果の比較と要因についての検討,共著,2017 年 1 月,日本病態栄養学会 9)特定保健指導の支援レベル別指標改善効果に対する比較評価,共著,2017 年 6 月,日本循環器病予防学会 10)生活習慣病予防に向けた特定保健指導内容の改善と効果,共著,2017 年 10 月,日本糖尿病学会九州地方会 11)効果的な特定保健指導の取り組みと評価 共著,2018 年 6 月,日本循環器病予防学会 12)当院での特定保健指導の効果と指導方法の検討,共著,2019 年 1 月,日本病態栄養学会学術集会 13)健康維持に向けた保健教育,共著,2019 年 7 月,西日本肥満研究会年次学術集会 14)特定保健指導における効果的な支援手法の検討,共著,2020 年 2 月,福岡女子短期大学紀要 第 85 号 79-86 15)糖尿病患者のアドヒアランス効果につながる調理実習,共著,2021 年 2 月,福岡女子短期大学紀要 第 86 号 25-32						

- | |
|--|
| <p>16)高齢者糖尿病患者の食事療法に対するアンケート調査,共著,2022 年 2 月,福岡女子短期大学紀要 第 87 号 53-60</p> <p>17)入院患者に向けたヴィーガン食導入の検討,共著,2023 年 2 月,福岡女子短期大学紀要 第 88 号 77-91</p> <p>18)入院患者向けヴィーガン食導入後の評価,共著,2024 年 2 月,福岡女子短期大学紀要 第 89 号 65-76</p> <p>【主な学会発表】</p> <p>1) Social Survey on community response to railway noise and vibration in Hanoi,2011 年 9 月,internoise2011 in Osaka</p> <p>2)気象×電力の取り組み,2017 年 8 月,電気関係学会 電気関係学会東北支部連合大会</p> <p>3)気象×電力の取り組み,2018 年 9 月,電気関係学会 電気関係学会東北支部連合大会</p> <p>4)気象×電力の取り組み,2023 年 9 月,電気関係学会 電気関係学会東北支部連合大会</p> |
|--|

教員名	大川 絹代	所属	専攻科	職名	教授	学位	修士（教育学）
最終学歴	鳴門教育大学大学院(修士課程)学校教育研究課障害児教育専攻修了						
研究分野・テーマ	障害児・者支援、権利擁護に関する研究。						
学会活動	日本社会福祉学会、日本ソーシャルワーク学会 日本公認心理師学会 社会福祉士学会（日本社会福祉士会）						
研究成果の公表	著書 「養護原理」ナカニシヤ出版、2010、 昇地勝人、進藤啓子、田中麻里 編 第8章 執筆担当 「社会的養護内容」ナカニシヤ出版、2013、昇地勝人、進藤啓子、田中麻里 編 第10章 執筆担当 「よりそい 支える 社会的養護Ⅰ」教育情報出版、2019 監修：中山正雄 編著：浦田雅夫 Chapter 4 -13 執筆担当 「第2版 21世紀の現代社会福祉用語辞典」学文社、2019 九州社会福祉研究会編、 分筆、 「新・子ども理解と援助-その理論と方法-」教育情報出版 2021 入江慶太 編著 第15章 執筆担当 論文 「介護実習における『尊厳』『自立』の学びについての一考察」精華女子短期大学研究紀要第49号 p31-36						

